

平成29年度 佐世小 情報・メディアを活用する学び方の指導体系表 <各学年の目標>

	低学年の目標	中学年の目標	高学年の目標
図書館の利用 基盤となる	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館のきまりがわかり、きまりを守って正しく利用できる。 ・図書館が読書とともに調べる場であることを理解して活用できる。 ・図書館内の様子や4類、6類、9類などのだいたいの位置がわかる。 ・本の借り方、返し方がわかり、積極的に本を借りることができる。 ・読み語りを聞き、読書や調べ学習の意欲につなげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本が内容で分けられていることがわかる。 ・図書が10種類に分けられていることや、分類記号のだいたいがわかる。 ・図書館資料の有効な活用ができる。 ・ブックトークを聞き、読書や調べ学習の意欲を高め、本を活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本十進分類法の仕組み（100区分の意味）がわかる。 ・学校図書館に本がない場合に公共図書館を利用することができる。 ・美術館、歴史館などの地域の文化施設の機能や役割を知り、調べ学習に役立てることができる。 ・ブックトークを聞き、読書や調べ学習の意欲を高め、発展的な学習に活かすことができる。
課題設定・学習計画 I	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象から疑問や関心を抱き、学習のめあてをもつことができる。 ・学習の見通しをもって、取り組むことができる。 ・人的情報、図書、観察等の情報源を選んで調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの学習テーマから自分のテーマを選択することができる。 ・学習計画を知り、学習の見通しを持つことができる。 ・様々な種類の資料の特性を知り、調べに適したものを利用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習テーマを決める際のさまざまな方法を知り、それを使って学習テーマを決定することができる。 ・調べる内容にあった調べ方を考え、学習計画を立てることができる。 ・様々な資料の特性を活かし、複数の情報源から情報を利用することができる。
情報の収集 II	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が探す本がどこにあるか、おおよそ分かる。 ・いろいろな種類の図鑑があることを知り、場に応じて目次や索引を利用して、調べることができる。 ・人に聞いたり、観察したりすることにより、情報を集めることができる。 ・指読みを使って、本を読み、情報をみつけることができる。 ・大事なことを抜き出したり、絵や文で分かったことをまとめたりし、記録をとることができる。 ・学習のテーマにあったノートのまとめ方ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館内の配架位置を知り、日本十進分類表等を使って、自分の探す資料をみつけることができる。 ・情報を探すために、目次や索引を効果的に使うことができる。 ・国語辞典や漢字辞典、百科事典の基本的な使い方がわかり、活用することができる。 ・人的情報源の適切な使い方（インタビュー、アンケート）ができる。 ・コンピュータやデジカメの基礎的な操作ができ、インターネットの使い方がわかる。 ・著作権やインターネットの利用の仕方、情報の利用上の留意点を知ることができる。 ・情報を探すときに、「見出し」を見て、キーワードを拾いながら読むことができる。 ・見つけた情報を要約し、情報カードに記録する方法がわかる。 ・情報の出典の書き方がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の配架の仕組みがわかり、日本十進分類一覧表を手掛かりに自分の求める資料を探すことができ、見つからなかった際の対処法がわかる。 ・情報を探すために、目次や索引、見出し、パスファインダーなどのリストを効果的に活用することができる。 ・国語辞典、漢字辞典、百科事典、年鑑、ファイル資料、雑誌等をさまざまな資料の特性に合った活用ができる。 ・自分に必要な情報をインターネットなどいろいろなメディアや資料から集めることができる。 ・メディア情報に真偽があることやつきあい方がわかる。 ・求める情報のキーワードに注目しながら資料を読むことができる。 ・調べた内容を情報カードに記録し、活用することができる。 ・様々な資料のリストを作ることができる。
情報の整理・まとめ III	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や文を使って、わかったことをまとめることができる。 ・クイズや劇などにまとめることができる。 ・調べたり、わかったりしたことの感想を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報カードの内容を取捨選択してまとめに使うことができる。 ・表や図、写真等を利用し、新聞やパンフレット、レポートなどにまとめることができる。 ・収集した情報を、より分かりやすく伝えるため、絵や図表やグラフ等に加工することができる。 ・まとめの中に自分の意見を入れてまとめることができる。 ・本の内容の引用のしかたがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報カードやふせんなどの情報を整理・分析し、取捨選択して、まとめに使うことができる。 ・複数の情報を比較し、評価することができる。 ・さまざまな形のまとめ方で情報を発信することができる。 ・収集した情報を絵や図表やグラフ等に加工し、効果的に活用することができる。 ・視聴覚機器やコンピュータを利用し、自分の調査、研究に適したまとめかたができる。 ・引用する際、自分の意見と分けて書くことがわかり、効果的に引用することができる。
発表 IV	<ul style="list-style-type: none"> ・身振りや実物等を使って、発表をすることができる。 ・はっきりと、自分の言いたいことを伝えることができる。 ・人の発表を聞いて、感想を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な発表の仕方ができる。 ・相手にわかりやすく伝える工夫ができる。 ・人の発表を聞くときの観点（態度や内容）がわかり、評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いている人とやりとりをしながら発表することができる。 ・相手や目的に応じて、調べたことや自分の考えが伝わるようにまとめや発表を工夫することができる。 ・人の発表を聞き、相互評価をすることができる。